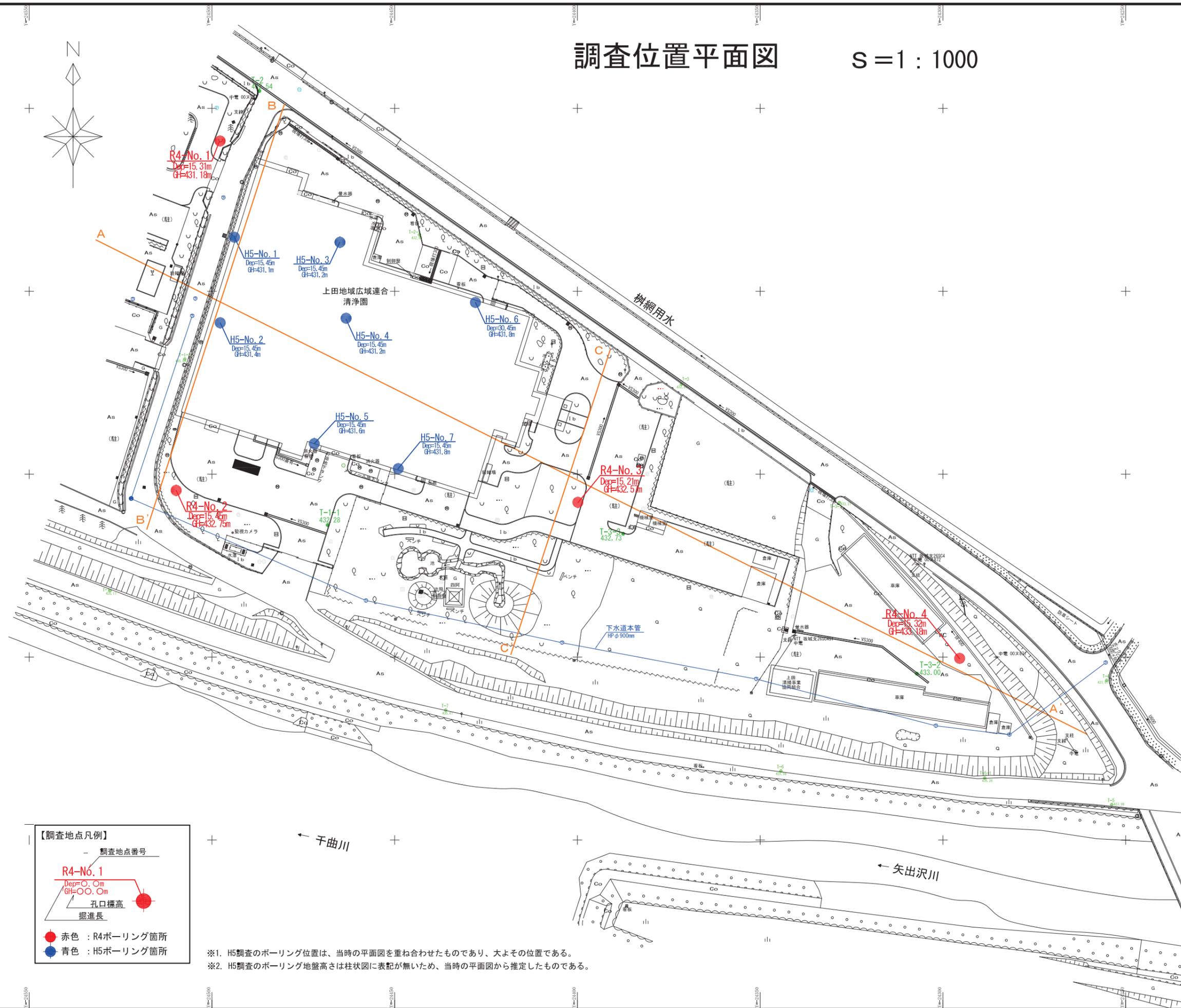


# 調査位置平面図

S = 1 : 1000

添付資料3  
地質地盤状況



ボーリング孔地盤高

孔番	ボーリング地盤高	基準点番号	基準点地盤高
R4-No. 1	431.18m	T-2	432.54m
R4-No. 2	432.75m	T-1-1	432.28m
R4-No. 3	432.57m	T-3-3	432.73m
R4-No. 4	433.18m	T-3-2	433.00m

**【調査地点凡例】**

調査地点番号

R4-No. 1  
Dep=15.31m  
GH=431.18m

孔口標高  
掘進長

赤色 : R4ボーリング箇所  
青色 : H5ボーリング箇所

※1. H5調査のボーリング位置は、当時の平面図を重ね合わせたものであり、大よその位置である。  
 ※2. H5調査のボーリング地盤高さは柱状図に表記が無いため、当時の平面図から推定したものである。

令和4年度  
資源循環型施設 地質調査業務委託

番号 1/4 調査位置 平面図 縮尺 1/1000

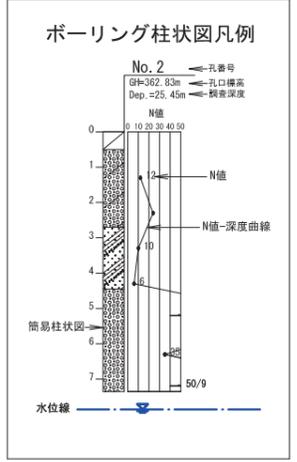
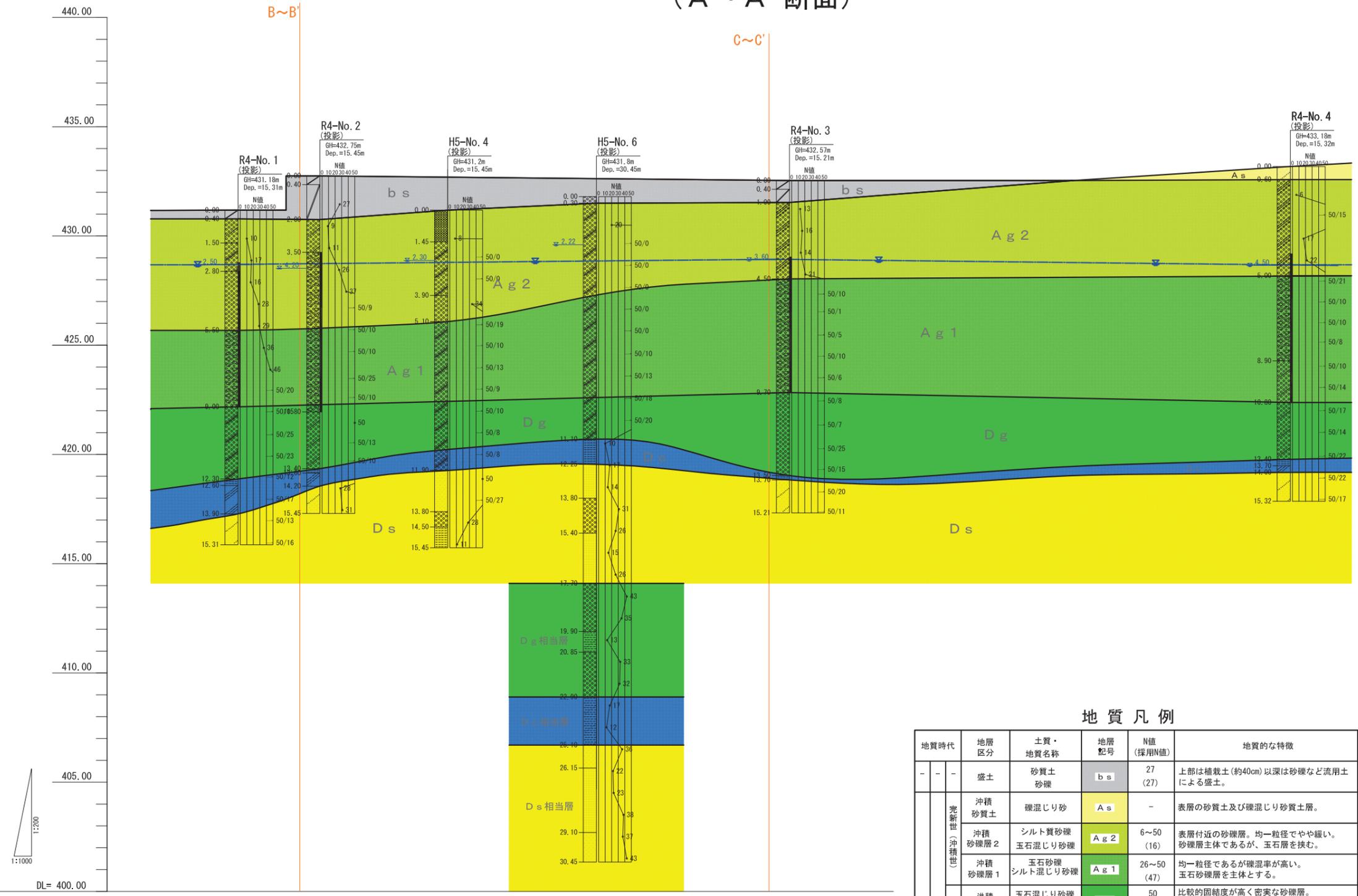
上田市常磐城及び秋和

局長 室長 照査 設計

上田地域広域連合

# 地質想定縦断図 V=1:200 H=1:1000

## (A~A'断面)



地質時代	地層区分	土質・地質名称	地層記号	N値 (採用N値)	地質的な特徴
-	-	盛土 砂質土 砂礫	bs	27 (27)	上部は補栽土(約40cm)以深は砂礫など流用土による盛土。
新 生 代	完 新 世 (沖積世)	沖積砂質土	As	-	表層の砂質土及び礫混じり砂質土層。
		沖積砂礫層2	Ag2	6~50 (16)	表層付近の砂礫層。均一粒径でやや緩い。砂礫層主体であるが、玉石層を挟む。
		沖積砂礫層1	Ag1	26~50 (47)	均一粒径であるが礫混率が高い。玉石砂礫層を主体とする。
	第 四 紀	洪積砂礫層	Dg	50 (50)	比較的固結度が高く密実な砂礫層。比較的均等粒径なシルト混じり砂礫、玉石混じり砂礫層から成る。
		洪積粘質土	Dc	-	10~20cm大の固結シルト及び腐植物を含む砂質土層から成る。
		更新世(洪積層)	洪積砂質土層	Ds	28~50 (44)
	洪積砂礫相当層	Dg相当層	-	H5-No. 6において確認された洪積砂礫相当層。	
	洪積粘土相当層	Dc相当層	-	H5-No. 6において確認された洪積粘土相当層。	
	洪積砂質土相当層	Ds相当層	-	H5-No. 6において確認された洪積砂質土相当層。	

※H5調査のボーリング地盤高さは柱状図に表記が無いため、当時の平面図から推定したものである。

令和4年度 資源循環型施設 地質調査業務委託

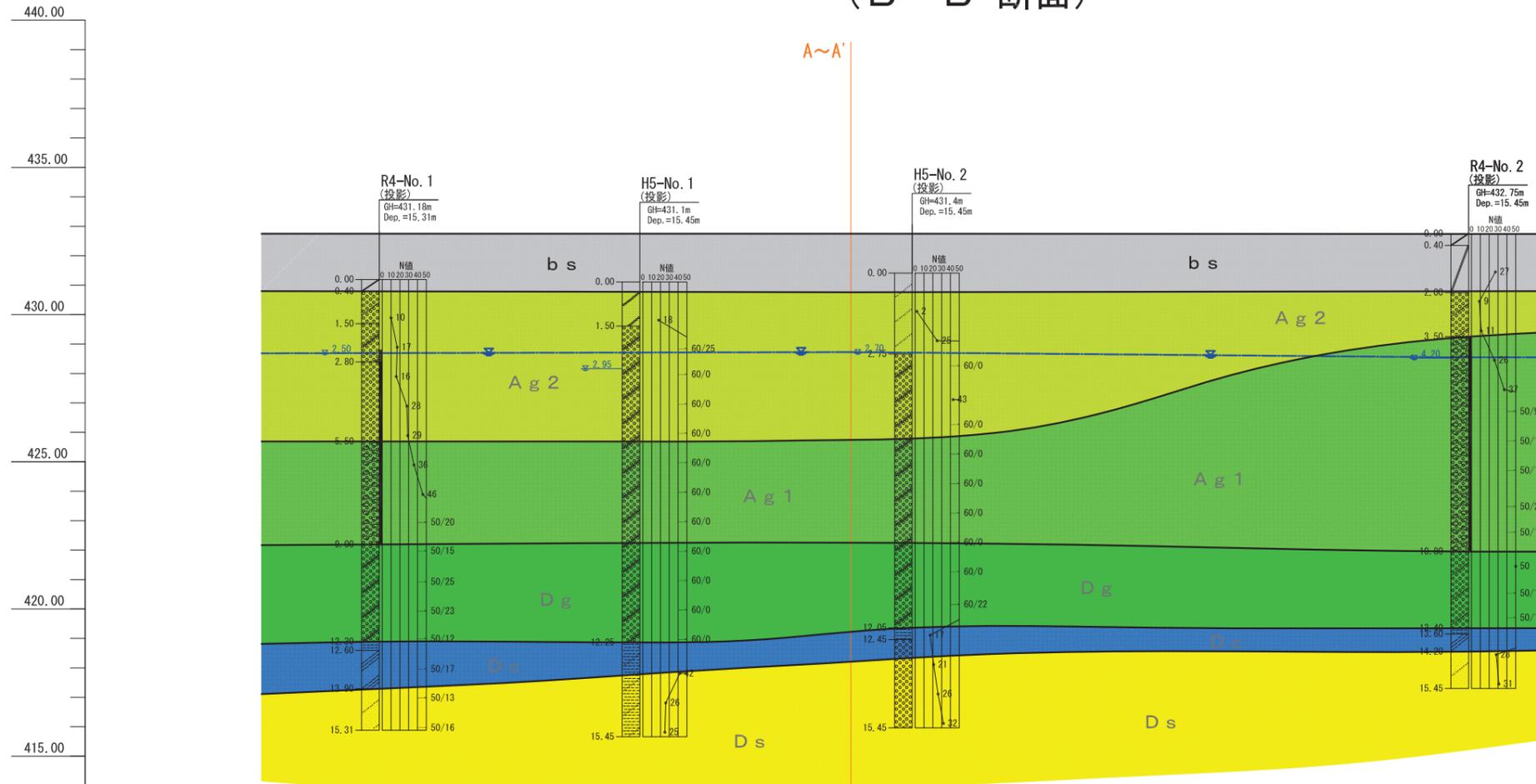
番号 2/4 地質想定横断図 縮尺 V=1:200 H=1:1000

上田市常磐城及び秋和

局長 室長 照査 設計

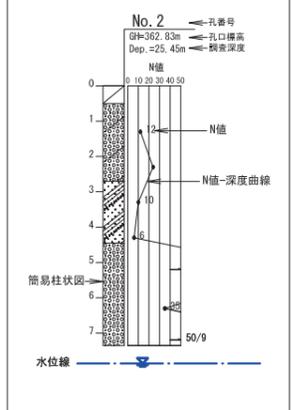
上田地域広域連合

# 地質想定横断図(1) V=1:200 H=1:500 (B~B'断面)



DL= 400.00

## ボーリング柱状図凡例



## 地質凡例

地質時代	地層区分	土質・地質名称	地層記号	N値(採用N値)	地質的な特徴
-	-	盛土 砂質土 砂礫	bs	27 (27)	上部は補裁土(約40cm)以深は砂礫など流用土による盛土。
新 生 代	完 新 世 (沖積世)	沖積砂質土	As	-	表層の砂質土及び礫混じり砂質土層。
		沖積砂礫層2	Ag2	6~50 (16)	表層付近の砂礫層。均一粒径でやや緩い。砂礫層主体であるが、玉石を挟む。
		沖積砂礫層1	Ag1	26~50 (47)	均一粒径であるが礫混率が高い。玉石砂礫層を主体とする。
	第 四 紀	洪積砂礫層	Dg	50 (50)	比較的固結度が高く密実な砂礫層。比較的均等粒径なシルト混じり砂礫、玉石混じり砂礫層から成る。
		洪積粘土層	Dc	-	10~20cm大の固結シルト及び腐植物を含む砂質土層から成る。
		洪積砂質土層	Ds	28~50 (44)	密実かつ均等粒径な礫混じり砂、砂単一層。
		洪積砂礫相当層	Dg相当層	-	H5-No. 6iにおいて確認された洪積砂礫相当層。
	更 新 世 (洪積世)	洪積粘土相当層	Dc相当層	-	H5-No. 6iにおいて確認された洪積粘土相当層。
		洪積砂質土相当層	Ds相当層	-	H5-No. 6iにおいて確認された洪積砂質土相当層。

※H5調査のボーリング地盤高さは柱状図に表記が無いため、当時の平面図から推定したものである。

令和4年度 資源循環型施設 地質調査業務委託

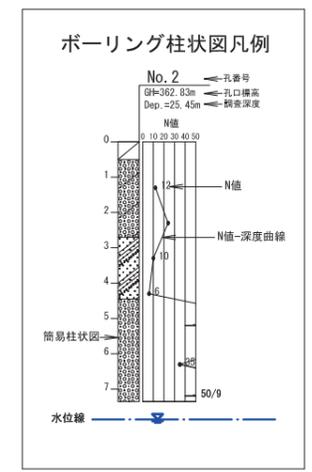
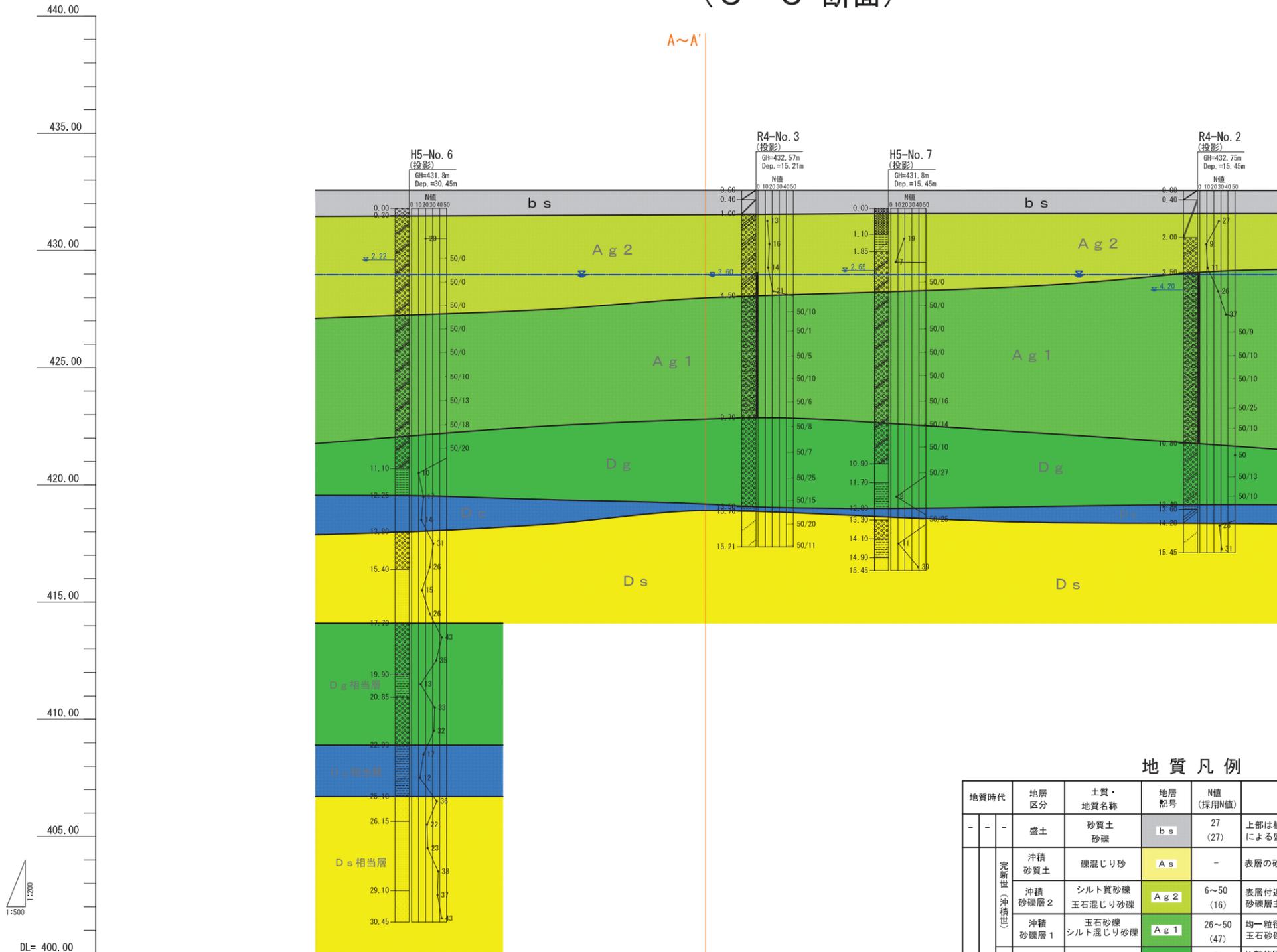
番号 3/4 地質想定横断図(1) 縮尺 V=1:200 H=1:500

上田市常磐城及び秋和

局長 室長 照査 設計

上田地域広域連合

# 地質想定横断図(2) V=1:200 H=1:500 (C~C'断面)



地質凡例

地質時代	地層区分	土質・地質名称	地層記号	N値(採用N値)	地質的な特徴	
-	-	盛土 砂質土 砂礫	bs	27 (27)	上部は補栽土(約40cm)以深は砂礫など流用土による盛土。	
新 生 代	完 新 世 (沖積世)	沖積砂質土	As	-	表層の砂質土及び礫混じり砂質土層。	
		沖積砂礫層2	Ag2	6~50 (16)	表層付近の砂礫層。均一粒径でやや緩い。砂礫層主体であるが、玉石を挟む。	
		沖積砂礫層1	Ag1	26~50 (47)	均一粒径であるが礫混率が高い。玉石砂礫層を主体とする。	
	第 四 紀	洪積砂礫層	Dg	50 (50)	比較的固結度が高く密実な砂礫層。比較的均等粒径なシルト混じり砂礫、玉石混じり砂礫層から成る。	
		洪積粘土層	Dc	-	10~20cm大の固結シルト及び腐植物を含む砂質土層から成る。	
		洪積砂質土層	Ds	28~50 (44)	密実かつ均等粒径な礫混じり砂、砂単一層。	
		洪積砂礫相当層	Dg相当層	-	H5-No. 6において確認された洪積砂礫相当層。	
	更 新 世 (洪積世)	洪積粘土相当層	粘性土 固結粘性土	Dc相当層	-	H5-No. 6において確認された洪積粘土相当層。
		洪積砂質土相当層	砂質土 砂等	Ds相当層	-	H5-No. 6において確認された洪積砂質土相当層。

※H5調査のボーリング地盤高さは柱状図に表記が無いため、当時の平面図から推定したものである。

令和4年度 資源循環型施設 地質調査業務委託

番号	4/4	地質想定横断図(2)	縮尺	V=1:200 H=1:500
上田市常磐城及び秋和				
局長	室長	照査	設計	
上田地域広域連合				







# ボーリング柱状図

調査名 資源循環型施設 地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo 4

ボーリング名	R4-No.4		調査位置	上田市常磐城及び秋和			北緯	36° 24' 27.12"					
発注機関	上田地域広域連合			調査期間	令和4年8月17日～4年8月24日			東経	138° 13' 44.53"				
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者			ボーリング責任者					
孔口標高	433.18m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	東邦地下工機製 D0-C	ハンマー落下用具	半自動落下装置	
総掘進長	15.32m	度		向				エンジン	ヤンマー製 TF70V-E	ポンプ	丸山製 GS305E-H		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験 (掘進月日)	
											深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深 (m)	試験名				深 (m)
432.58	0.60	0.60			礫混じり砂	黄褐			表層土で砂質土主体。	8/20	1.15	2	2	6/30					
					シルト質砂礫	灰褐	緩い	中ぐらい	亜円礫状でφ80mm以下の粗中礫主体。礫混率は体積比で70~80%。基質はやや緩いシルト質砂で均一粒径かつ粗砂分が目立つ。水位より上方のため細粒分のシルト分が含まれている。	8/20	1.45	20	30/5	50/15					
					玉石砂礫	灰褐	非常に密な		コア長で200mm以下の玉石分が体積比で20~30%を占める。礫分は粗礫主体で礫混率は玉石を含んで体積比で70~80%を占める。基質はやや緩いシルト混じり砂で、礫間に狭在するため比較的緩い。	8/20	2.15	17	30/1	50/21	4.00	現場透水試験 4.22E-05m/s	P4-1	室内土質試験	
428.18	4.40	5.00			シルト混じり砂礫	褐緑灰	非常に密な		φ50mm以下の粗中礫が体積比で30~50%を占める。基質は細粒分を少ない砂で緩い堆積状況。	8/20	3.15	4	8	5	17/30				
					シルト混じり砂礫	暗紫灰	非常に密な		色調や縮まり具合から以深は更新世堆積物と思われる。礫は亜円礫状でφ50mm以下の粗中礫分が多い。礫混率は30%程度と少ない。基質は細粒分の少ない砂層であるが均等粒径を呈する。	8/20	3.45	7	7	8	22/30				
424.28	3.90	8.90			固結シルト質砂	褐灰			硬質かつ固結状のシルト質土。	8/20	4.15	17	30	3	50/1	5.00		P4-2	室内土質試験
					礫混じり砂	暗紫灰	非常に密な		φ20mm以下の中細礫が体積比で20%ほど混在。基質は粗砂で細粒分はほとんどない。	8/20	4.45	50			5.00	孔内水平載荷試験			
422.38	1.90	10.80			シルト質砂	暗紫灰			シルト分優勢な砂質土。腐植物を含む。	8/20	4.15	7.10	50		150				
					シルト混じり砂礫	暗紫灰				8/20	7.20	50			150				
419.78	2.60	13.40			シルト質砂	暗紫灰				8/20	8.00	50			188				
419.48	0.30	13.70			シルト質砂	暗紫灰				8/20	8.08	50			150	8.90			
419.18	0.30	14.00			シルト質砂	暗紫灰				8/20	9.10	36	14	50/14				P4-3	室内土質試験
					シルト質砂	暗紫灰				8/20	10.05	22	28	50/17		10.80			
417.86	1.32	15.32			シルト質砂	暗紫灰				8/20	10.19	18	32	50/14					
					シルト質砂	暗紫灰				8/20	11.10	15	30	5/2	50/22				
					シルト質砂	暗紫灰				8/20	11.27	17	28	5/2	50/22				
					シルト質砂	暗紫灰				8/20	12.10	19	31	50/17					
					シルト質砂	暗紫灰				8/20	12.24	15	30	5/2	50/22				
					シルト質砂	暗紫灰				8/20	13.15	13	37	5/2	50/22				
					シルト質砂	暗紫灰				8/20	14.15	17	28	5/2	50/22				
					シルト質砂	暗紫灰				8/20	14.37	19	31	50/17					
					シルト質砂	暗紫灰				8/20	15.15	15	32	50/17					
					シルト質砂	暗紫灰				8/20	15.32								









# ボーリング柱状図

調査名 清浄園汚水処理場建設に伴うボーリング調査業務

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 5		調査位置	上田市大字常盤城			北緯				
発注機関			調査期間	平成 5年 7月29日 ~ 5年 8月 5日			東経				
調査業者名		主任技師	現場代理人	コ ア 鑑定者			ボーリング責任者				
孔口標高		角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 南 東	地盤勾配	使用機種	試錐機	Y B M - 2 Z	ハンマー 落下用具	モンケン
総掘進長	15.45m	度		向		水平 0°	エンジン		N F D 9 0	ポンプ	V 5 - P

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取 番号	室内試験 方法	掘進 月日	
									深 度 (m)	10cm ごとの 打撃回数 (回)	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値							
0.15	0.15	0.15		砂	暗灰褐色			含水中、シルト分含む。	8.4 0.96	1.15	1	1/15	1/12	3/37					
0.90	0.90	1.05		粘土混じり砂質土	暗灰褐色			含水中、上部(0.15m~0.35m)は、青褐色の粘性土で在るが下部は茶褐色の粘性土である。高いや含水の高い粘性土である。全体的に堅い。時々玉石(3.5cm程度)も見られる。	8.4 0.96	1.52									
1.75	1.75	2.80		砂質土	暗灰褐色			含水中~小。ガラス片を多量に含み、空隙の大きい盛土で送水も全透水である	8.4 0.96	2.15	1	1/30	1/15	2/45					
1.55	1.55	4.35		砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	2.60	9	17	13	39/30					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	3.15	9	17	13	39/30					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	3.45				50/0					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	4.15				50/0					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	4.15				50/0					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	5.15	24	26		50/20					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	5.35				50/20					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	6.15	34	16/5		50/15					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	6.30				50/15					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	7.15				50/0					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	7.15				50/0					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	8.15	50/7			50/7					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	8.22				50/7					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	9.15	16	26	8	50/30					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	9.45				50/30					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	10.15	39	11/6		50/16					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	10.31				50/16					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	11.15	29	17	4/8	50/28					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	11.43				50/28					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	12.15	5	4	4	13/30					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	12.45				13/30					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	13.15	3	3	4	10/30					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	13.45				10/30					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	14.15	7	12	11	30/30					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	14.45				30/30					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	15.15	9	9	10	28/30					
				砂	淡黄褐色			含水中~大。含水が高く緩い砂礫、上部はシルトを含む砂質土、孔の崩れ大	8.4 0.96	15.45				28/30					



